



Chapter4

意見を述べる



Section1 : 自分の考えや意見を述べることができる

◆チャレンジ

学生二人に会話の役割を決めて読ませます。クラス全体で会話のどの点に問題があるかとその理由を考えさせてください。自由に発表させてもいいですし、ペアになって学生同士で話させてもいいです。最後は教師が、模範解答を参考に日本語の会話では一般的はこういう点が問題だと解説してください。「問題がない」と判断する学生がいた場合は、その理由も聞いてみましょう。

◆会話

場面：寮のリビングルーム スピーチスタイル：普通体 活動：意見を言う／提案する
登場人物：トーニョ（メキシコ出身） トーン（ベトナム出身） 紅蘭（中国出身）
学生寮の寮生がより親しくなれるように皆で何かをしようという提案がなされています。トーニョは皆で伊香保温泉一泊旅行を強く推します。しかし、紅蘭は経済的な面や個人の都合を考えて、難しいのではないかと、パーティーを提案します。トーンもそれに賛成します。トーニョは温泉一泊旅行のさまざまないい点を挙げて二人を説得しようとしています。最終的には温泉一泊旅行かパーティーか寮の皆に聞いて多数決で決めることとなります。ここでは、友人同士での意見の述べ方とその理由を述べる言い方、反論の表現などが出てきます。トーニョの台詞が長く、やや難しい語彙も含まれています。三人それぞれの意見の言い方に注目するもの面白いです。何について話しているか、誰がどんな意見を述べたか、その理由は何か、結局どうなったかがポイントになります。学生にその点を注意して聞くように指示しましょう。

◆Pick Up



1. みんなで伊香保温泉一泊旅行って、どう思う？

「～って、どう思う？」は「～について、どう思いますか」のくだけた表現です。「思う？」は「う」が一度下がって、上がるイントネーションになるので、やや「う」を長めに発音して最後を一気に上げると自然な疑問イントネーションになります。「どう」の「ど」が文の中で一番高くなります。日本語の文の中では、「何、いつ、どこ、どうして」などの疑問詞が文の中で一番高く発音されることが多いです。疑問詞は、全て頭高型になります。「どのくらい／どれくらい」は頭高型と平板型があります。頭高型は最初の音にアクセントがあり、その次の音で下がる言葉、平板型はアクセントがなく音の下がり目がない言葉です。表現を練習するときは、「～って」の前の単語を教師が提示し、そのあとに「～ってどう思う？」と続けさせます。伊香保温泉の画像があると、イメージしやすいです。

2. ちょっと難しいんじゃないかな

「～のではないのでしょうか」のくだけた言い方です。「～んじゃない？」に自問を意味する「かな」をつけて直接的な表現を避けています。「私はそう思うけど、どうかな」という控え目な印象を与えます。「かな」は「な」がやや上がり調子に発音されます。モデルの音声で確認してください。

3. みんなが気軽に参加できるって言う点では、パーティーなんかいいんじゃない？

「いいんじゃない？」はくだけた提案の表現で、「～っていう点で」は「～という理由で」と同じ意味ですが、いろいろな観点がある中で、この観点からはという条件付きの理由になります。「じゃない」は「い」で下がり急に上げて発音する人とテキストの例のように「な」から上げて発音する人がいます。

4. 日帰りだったら、なんとかなるかもしれないけど、

前件に条件を入れて、その場合解決方法があると言うときに使います。何か難しい問題や課題に対して、条件を変えればできるかもしれないという意味です。したがって、最初の提案よりも、より簡単でよりゆるい条件が「～だったら」に入ることが多いです。

A「1万円貸してもらえないかな」

B「5千円だったら、なんとかなるけど」○ B「2万円だったら、なんとかなるけど」×

◆表現練習

I. 相手の意見を聞く

この会話では提示された①②のテーマについて意見を述べる練習です。③は学生自身が話し合うテーマを決めます。テーマ以外は入れ換え練習になっているので、自分の意見を述べるいい練習になりますが、トーン役の学生は、そのテーマの良い点と悪い点をそれぞれ二つずつ述べなければいけないので、テーマに関して意見を考える時間をとっていいかもしれません。AIは人工知能 (Artificial Intelligence) の略です。

II. 柔らかく意見を言う

モデルでは平和に関する意見を述べています。①②も環境問題、男女平等と社会問題がテーマ



になっています。入れ換え用の文もやや長く、「解決する」「出し続ける」「徹底する」などやや難しいものが使われています。必ず文の意味を理解させてから会話をさせてください。また紅蘭の最後の台詞でつまってしまう学生もいますので、どうしても思いつかない学生がいた場合は、「そうすれば問題が解決する」「それがいい」などを使ったらどうかなど、アドバイスしてください。③に関して、社会問題のテーマがなかなか決められない学生もいますので、そのような学生には教師が適当なテーマを提示することも可能です。

Ⅲ. 理由を言って意見を言う

この会話では提示された①②のテーマについて意見と理由を述べる練習です。友人同士で何かを決めるとき、相手を説得するために便利な表現です。「～で決まり」という言い方もよく使うので覚えさせてください。

Ⅳ. 問題の解決法について話す

「なんとかなる」は方法は何であれ解決できる、問題が回避できるという意味です。これとは反対の意味の表現が「～ても、どうにもならない」です。この会話の紅蘭の最後の台詞は、この「どうにもならない」の意味で、意図的に「それはなんとかならないかも」と「なんとかなる」の否定形を用いています。これが会話の落ちで、紅蘭のちょっとした皮肉も含まれています。リッキーの最初の台詞「あ、もうこんな時間！」も良く使うので覚えて使ってみるようにアドバイスしてください。

◆文法

1. **V-る/V-ない**ように、**S**

「～ように」と「～ために」に使われる動詞が異なりますので、整理しましょう。

・「～ように」：自動詞（無意志動詞：自分でコントロールできない動作を表す動詞、他動詞の可能形、ない形）

・「～ために」：他動詞、自動詞（意志動詞：移動動詞など自分で動作がコントロールできるもの 例）行く、来るなど

動詞を自動詞と他動詞とに分けて説明することもできますし、意志動詞と無意志動詞に分けて説明することもできます。

2. **Nな/普通体（なAな）**んじゃない？

「(な) のではないでしょうか」のくだけた言い方です。「Nだ」は「Nな」、「なAだ」は「なAな」になります。「じゃない」の部分は、文末を下げるイントネーションの場合は「否定」の意味になりますので、文末を上げて発音するように注意させください。ここでは音声例がないので、教師が発音し、リピートさせてもいいでしょう。

3. **Nに賛成**

相手の意見に対して自分の立場を表す最もシンプルな表現です。N の部分は人名でも事柄でも入れることができます。学生には単に「賛成！」だけでも使えること、反対意見の場合は「Nに反対」（例 戦争に反対）ということ、「(に) 賛成する/反対する」という動詞もあるこ



とを説明してください。

4. **N**だらけ

「～だらけ」は否定的な意味を含むことが多いということを、次のような例を用いて説明してください（例 部屋が泥／ごみ／埃／血だらけです。この書類は間違いだらけです。）

5. **N**／普通体とは限らない

「常にそうなるわけではない。そうならないこともある」という意味です。学生に返答に必ず「～とは限らない」を使うように指示して、練習する方法があります。

T「(学生の出身国) の人はみんな親切だそうですね」

S「みんなが親切だとは限りません。そうじゃない人もいますよ。」

「Nだ」は「Nだ」、「なAだ」は「なAだ」となることもあります。

6. **N**／普通体となると

何かを想定した場合に、考えられることを述べるときに使います。次のような例文作りで理解を確かめてください。

- ・留学するとなると、()。
- ・() となると、中止にしなければならない。

Nは「Nだ」は「Nだ」、「なAだ」は「なAだ」となることもあります。

7. 普通体というわけにはいかない

言い換えると、「どうしても、～する(しない)ことはできない」になります。

「わけ」を使った表現は多いので、学生が混乱しないように注意してください。ここでは「というわけにはいかない」に集中して練習させた方が、混乱が少ないです。学生より質問が出た場合、下のように簡単に答えるといいでしょう。「Nだ」は「Nだ」、「なAだ」→「なAだ」となることもあります。

- ・～わけだ：～という理由だ。そういう理由で～だ。
- ・～わけじゃない：～という意味ではない。～ということではない。
- ・～わけがない：絶対に違う。～はありえない。
- ・～わけにはいかない：～することは(状況的に、心理的に、論理的に)できない。

「～わけにはいかない」と「～というわけにはいかない」は同じように使えますが、後者は名詞も使えます（例 安くておいしいけど、毎日ラーメンというわけにはいかない）

8. **Nの**／普通体(なAな)はずだ

否定は「～はずではない」ではなく「～ないはずだ」になります。また、「はずがない」という表現も「～はずだ」の反対の意味で、「論理的に考えて、その可能性はない」という意味になります。次のような例文作りで、理解を確かめることができます。否定形は「はずではない」ではなく、「はずがない」を使います。

- ・Aさんは昨日いなかったから、()はずだ。
- ・Aさんは()ので、英語が話せるはずだ。

9. 音の変化 **V-て**って/て



「持って行って」「待っていて」を板書し、「持って~~って~~」「待~~って~~て」と取り消し線を入れ、形を確認させてください。また「持っていく」「連れていく」「寄っていく」「買っていく」や、「待つ」「見る」「食べる」「読む」などの動詞を用いて、「持って行って（ください）→持~~って~~って（ください）」、「待っていて（ください）→待~~って~~て（ください）」などの練習をするといいでしょう。

◆文法練習

I 【ように】

リッキーの台詞の「～ように、～（よ）うと思っている」の後半は意向形を用います。意向形ができていない学生には形を確認させてください。

G1 行く →行こう G2 食べる→食べよう G3 来る→来よう する→しよう

思い出したことを話すときに使う「そういえば」、相槌として使う「そうなんだ」、Good Luck の意味の「がんばってね」や「応援しているよ」も覚えさせてください。「思ってるんだ」、「応援してるよ」は Chapter 1 で学習した「い」の脱落です。

II 【となると】

【とすると】の練習になっていますが、練習する文法は「となると」（代替練習）です。

入れ換え部分が多いので、ただ読んでいただけにならないように気をつけさせてください。由実の台詞の「～んじゃない？」は上がり調子のイントネーションで発音させてください。音声モデルがないので、教師が発音して例を示してください。「～による」は「～によって異なる、同じではない」という意味で覚えさせると便利です。同じ意味の表現「～によって違います」があります。「～とは限らない」は固定ですが、この Section の学習項目です。「結婚式をする」は言えますが、「結婚式を挙げる」は知らない学生が多いので、ここで覚えさせるといいでしょう。

III 【というわけにはいかない】

ちょっと笑いを誘う会話になっています。トニーの一度目の「～っていうわけにはいかないんだ」と二度目の「～っていうわけにはいかないよ」は同じ表現ですが文末が異なりますので、練習のとき気をつけさせてください。「なんとかできないの？」は「どうにかできないの？」と同様に解決方法が難しい課題に対して、解決法がないのかを聞く表現ですが、やや強い印象を与えるかもしれません。①の C 「遊んでて」は「い」の脱落です。

IV 【はずだ】

ひろしの最後の台詞は落ちになっています。ひろしは約束の曜日を勘違いしており、友達にも誤った曜日を伝えてしまったようです。「はず」の前に名詞を用いる場合は「の」を忘れないよう注意させてください。（例 学生のはずだよ。）「遅いな」「変だな」の終助詞「な」は話者の気持ちを表します。「なあ」と少し長めに発音してもいいです。意外、困惑、驚き、感嘆などの気持ちを表します。ここでは、「おかしい」という気持ちを自問の形で表しています。学生にどうしてミスコミュニケーションが行ったのか尋ねてみるのも面白いです。



◆タスク

【話しましょう】

一つのテーマについてグループでディスカッションをします。活動の流れは以下の通りです。教師が何をするか説明をします。指示の文を読み上げるといいです。ペアまたはグループになるように指示します。教師がペア、グループのメンバーを決め、①か②のどちらかを選ばせます。グループは多数決で決めさせます。教師が決めてもいいです。話し合う前に少し考える時間を与えます。話し合う内容を板書してもいいです。例えば、①の場合、イベント、準備するもの、費用など。ペア、グループで時間を決めて話し合わせます。だいたい 15 分～20 分を設定することが多いですが、意見を活発に述べる学生が多い場合はもっと時間をかけてもいいです。話し合いが終わったら、各グループで話し合った結果を発表させます。その際、①の場合だとイベントのアピールできる点も発表させ、クラス全体でどれにするか選ばせてもいいです。②は①より、調べる作業があるので時間がかかるかもしれません。調べる作業を宿題にして、前もって調べさせておくと時間が節約できます。「～という点で」という表現を使って、聞き手を説得するよう促してください。

◆読みましょう

みどりがアメリカにあてたメモの読解です。各文が事実、問題点、意見、提案のどれにあたるのかを表現を頼りに読むようにアドバイスしてください。

◆書きましょう

4人でルームシェアするときのルールを提案するメールを書きます。理由とともに提案したいことを書かせてください。

◆聞き取り練習

問題文は教師が読み上げてください。

I の 1) は「会話」を簡略化したような内容になっています。聞きながら空欄を埋めることもできますが、一文にキーワードが複数ある部分もあるので、前もってワークシートを読ませる、メモは日本語以外も許可し、音声を聞いたあとに書く時間を与える、など学習者の聞き取り能力に合わせて、設定してください。2) は聞き終わったあとに答えさせればいでしょう。

II は家事や育児がテーマになっています。日本とヨーロッパの現実と、ももことリッキーの考えが出てきます。問題文は全て音声のみなので、聞きながら解答させてください。答え合わせの際、(×) の文はどこが間違っているのか学生に答えさせるといいでしょう。

III はキーワードを聞き取る練習なので、最初に①②の文を読ませて、予測させて答えさせましょう。





Section2 : 反対意見を丁寧に伝えることができる

◆チャレンジ

学生二人にチャレンジの会話の役割を決めて読ませます。クラス全体で会話のどの点に問題があるか考えさせます。その理由も考えさせてください。自由に発表させてもいいですし、ペアになって学生同士で話させてもいいです。最後は教師が、模範解答を参考に日本語の会話では一般的はこういう点が問題だと解説してください。二つ目も①～③の B を学生に読み上げさせ、肯定の意味か否定の意味か考えさせます。解答の際に「今回は残念ですか……」「どうでしょうかね。」「と思いますが」「これだったら～解決できる」がその判断の基準になっていることを説明します。

◆会話

場面：大学の授業、スピーチスタイル：丁寧体 活動：意見交換

登場人物：アメリ（フランス出身） トーン（ベトナム出身） 由実（東京出身） 太田先生

大学のゼミで太田先生から労働人口を補うために移民を受け入れるという考えがあると説明があり、それに対して学生たちが意見交換をしています。由実はいくつかの理由を挙げ、反対意見を述べますが、アメリは母国の例を出して賛成の意見を述べます。そして太田先生から具体的な長所と短所を挙げて、話し合おうという提案がなされます。ここでは全員がクラスメートであるにもかかわらず丁寧体を用いて話しています。意見交換の場が会議などと同じ正式な場面として取られているからです。社会的な問題について意見を述べているので、やや難しい語彙が用いられています。

◆Pick Up

I. 私は移民を受け入れるのはどうかなと思います。

反対意見を述べる時の言い方です。形を練習するために、教師と学生あるいは学生同士で次のような練習ができます。

T / S 1 「クラスで行うイベント、**ダンスパーティー**はどうでしょうか。」

S 2 「うーん、私は**ダンスパーティー**はどうかなと思いますが……」

□の部分を変えてやりとりします。余裕があれば、理由を述べさせてもいいでしょう。

S 2 「「うーん、私は**ダンスパーティー**はどうかなと思います。踊るのが苦手な人もいないではないでしょうか。」

II. 言葉や習慣の違いなどいろいろ問題があるのではないのでしょうか。

「～と思います」の意味です。文末の「でしょうか」は疑問文の形ですが、下がるイントネーションになるので、気をつけさせてください。上がり調子になると、詰問調子の疑問になるので、柔らかい表現を使う効果がなくなってしまいます。



Ⅲ. 確かに文化や言葉の違いで問題があるかもしれませんが、

相手の意見を認めた上で反論をいう言い方です。相手の話した内容を受けて、「確かにそうかもしれませんが」という言い方もあります。

Ⅳ. どう言ったらいいでしょうか。

文末の「でしょうか」は疑問文の形ですが、下がるイントネーションになるので、気をつけさせてください。意見を言いかけて、うまく文が作れなかったり、言いたいことがうまく言い表せないときに便利です。「何と言ったらいいんでしょうか」とも言います。普通体の形「どう言ったらいいだろう」「どう言ったらいいのかな」も便利なのでここで紹介してもいいでしょう。

◆表現練習

I. 相手に提案する

パーティーの料理を提案し、それに対する反対意見と理由を述べる練習です。同じパターンの繰り返しなので、モデル会話の練習のあとはテキストを見ずに練習できる学生が多いです。提案に全て反対なのに、自分の意見が特になくというジョークになっています。猫山の台詞「どうでしょうか。」は下がるイントネーション、ももこの「～のでは？」は上がるイントネーションですので、気をつけるよう促してください。Section1の表現練習Ⅲと同じで、与えられたテーマに関して自分の意見を言う練習になっています。モデルは料理が話題になっているので、それぞれの料理について簡単に学生に確認したり、画像を使って代表料理について話したりするのも面白いです。提案を三つ、反対意見の理由も三つ考えなければいけないので、リズムよく練習するためにはあらかじめ提案、反対意見を三つ考えさせておくといいでしょう。最後のももこの台詞は、例えば②の場合、「ディベートをしないのはどうでしょうか」「ディベートのテーマを決めるディベートはどうでしょうか」など自分なりに落ちを考える学生もいて盛り上がります。

II. 反対意見を言う

I同様、与えられたテーマに関して自分の意見を言う練習です。①～③の会話を行う前に自分の意見を頭で整理してから始めさせてください。「そうでしょうか。」「のではないのでしょうか。」は下がるイントネーションです。②AI(Artificial Intelligence)は人工知能のことです。

Ⅲ. 相手の意見を認めつつ反論する

会話では普段おとなしい猫山が「厳しくすべきだと思います」と強めの意見を言っています。「べきだと思う」は話者自身の判断で「～しなければならない、～するのは当然だ」という意味です。「確かに～かもしれませんが、～のではないのでしょうか」は反論する際に役に立つ決まり文句的な表現なので、文末イントネーションまで正しく覚えさせましょう。「～べきだ」の否定形は「～ないべきだ」(×)ではなく「～べきではない」(○)であることを学生に確認させましょう。

Ⅳ. すぐに意見が言えないときの表現の練習



「どういったらいいでしょうか。」は下がるイントネーションです。「うーん」は「ん ～」という発音でも大丈夫です。考えている感じを出すようにアドバイスしましょう。教師が腕を組んだり、頭を抱えたりしたジェスチャーとともに手本を見せるといいかもしれません。会話でははっきり言っていませんが、設定では、実はひろしは意見がなく、ごまかしているだけというジョークになっています。他にも反対意見を言いにくいという状況も考えられるでしょう。アメリの「賛成ですか。反対ですか。」は詰問調に発音すると、やや強い質問の印象を与えます。教師が詰問調と柔らかい発話（気持ちを入れず、賛成ですか。反対ですか。の間に、それともという言葉が入る感じで若干間を開けて発話する）手本を見せて、学生にどんな印象を与えるか考えさせてもいいでしょう。この会話は置き換える語がありませんので、学生が相手の意見を聞きたいテーマについて自由に話します。すぐにテーマが思いつかない学生には時間を与えるか、教師がテーマのヒントを与えてください。

◆文法

1. **N／普通体+こと**に対して

「に対して」には2つの意味があります。1つは、「について」と同じような使い方（例 移民受け入れに対して何か意見がありますか）です。もう一方は、AとBが対立したり、直接向かい合う対象として示したりする場合（例1 A国はB国に対して市場を開放するよう要求した（○）。／A国はB国について市場を開放するよう要求した（×）。例2 教師は学生に対して厳しい態度で接するべきだ（○）、教師は学生について厳しい態度で接するべきだ（×））です。「会話」では「について」と入れ換えても意味は通じますが、意見の対象、意見のターゲットが「移民を受け入れて問題を解決すること」なので、「～に対して」を用いています。「～に対して」は「～に」に置き換えることができますが、「対して」を加えることで、2者の対立関係やどちらからどちらへという方向性がより明確になります。「Nだ」は「Nだ」、「なAだ」は「なAな」になります。

N1／普通体+ことに対する**N2**

1の「～に対する」の後ろに名詞が来た場合の表現です。

2. 可能形

動詞のグループごとの形と意味、助詞を確認させてください。助詞は「が」を用います。「わかります」も可能の意味が含まれるので、助詞は「が」を使います。すでに可能の意味があるので、「わかれます（×）」という可能形は作れません。

3. **普通体**というわけではない

テキストでは「**普通形**というわけではない」となっていますが、**普通体**が正しいです。また「Nだ」は「Nだ」、「なAだ」は「なAだ」となることもあります。

「わけ」はSection1にも「～というわけにはいかない」が出てきたので、整理して説明するといいかもしれません。「という」は名詞を使うとき以外は省略できます。（例 わからないわけではない（○）／学生わけではない（×））ただし、な形容詞の場合は「な」が必要です（例



嫌いなわけではない)。

4. **N**によって違う

Nそれぞれによって異なることが言えるという意味です。「**N**によります」という言い方もできます。使用頻度が高い表現ですが、習得するとこの表現で回答を済ます学生がいるので、この表現の前に「一般的には～ですが／～だと言われているが」などを加えて、「～によって違います」という答え方があることも教えるといいでしょう。レベルが高い学生には、発展表現として、「違う」の前に「何が」違うかを入れることができること(例 人によって英語の能力は違います)、「疑問詞+かによって違います」という形があること(例 どこへ行くかによって、違います。)も教えてもいいでしょう。

5. **V-る**だけの十分な**N**

何かをするために必要なものが十分にあるという意味です。「だけ」の後に「の」があるのは後ろが「十分な **N**」と名詞になっているからです。「**V-る**だけの」部分の例を提示して後ろの名詞を考えさせたり(例 生活するだけの十分な **N**／日本で働くだけの十分な **N**)、後半の **N** の部分を提示し、前を考えさせたりする(例 () だけの十分なお金／日本語) 練習が考えられます。

6. **V-る**べきだ／べきではない

すでに表現練習Ⅲで用いられていますが、話者の「～しなければならない、～は当然だ」という判断を強く表現するときに使います。道徳的なこと、倫理的なこと、社会常識的なことに用いられることが多いです。表現練習でも述べましたが、「～べきだ」の否定形は「～べきではない」だということを学生に確認させましょう。また「する」は「～するべき／～すべき」の二つがあることも説明しましょう。

7. **N**にとって(も)

学生が使い方を間違いやすい表現です。「～にとっても」の後は価値判断、評価を表す言葉(主に形容詞／価値判断、評価を含む名詞)が来ます(例 いい、悪い、便利、難しい、簡単な、生きがい、やりがい、美德 など)。また名詞自体に価値や判断を表す意味がない場合も「～にとって」を使うことで、使われた名詞に話者の価値判断、評価が含まれることになります(例 私にとって、歌うことは自分を表現することなんです)。

◆文法練習

I. 【(よ) うとしている】

【(よ) うとしている】はテキストの文法で取り上げていませんので、少し詳しく説明します。「(よ) う」は意向形で、「(よう) うとしているは」は「これから～するところ、～しているところ」と行動を始めたり、その途上であることを表します。まず、意向形を復習させてください。

意向形

G1 書く→書こう

話す→話そう

辞書形の語幹+O



G2 食べる→食べよう いる→いよう る→よう

G3 します→しよう 来る→来よう

リッキーの様子を見て、噂話をしている会話なので、推測の表現「みたい」が使われていますが、ここの「みたい」は、誰かから情報を得て、誰かに伝達するときの本人から得た情報を婉曲的に伝達するときの表現（らしい）になります。猫山の最後の台詞「ああ、それで～んですね」は状況や理由を納得した、理解したという場合によく使う便利な表現ですので、学生に覚えさせるといいでしょう。

会話で取り上げられている「【可能形】【だけの十分な】」を使った練習も、本書サポートページでダウンロードしていただけます。

II. 【わけではない】

B と C は尋ねる方も答える方も同じ台詞です。特に答える方はテキストを見ず、相手の言ったことを繰り返して練習するようアドバイスしてください。会話の瞬発力を養成する練習になります。

III. 【べきだ／べきではない】

ペアではなく4人の会話になっています。食事をするのも忘れて話し合っている会話です。語彙がやや難しいので、意味をきちんと確認してから練習するようにアドバイスしてください。

IV. 【にとって】

自分自身を表現するものが何かについて話す会話です。ペア練習のあと、クラスで自分を表現するものを本人または聞き手に発表させて情報を共有するといいでしょう。

◆タスク

【話しましょう】

意見交換を行うタスクです。まず、2～4人のグループにします。①～④のうちから一つ選ばせませす。教師がテーマを決めてもいいです。また①～③から選ばせた後、④も行わせてもいいです。その際は時間配分に気をつけましょう。タイマーを使うといいでしょう。意見交換の前に各自でメモを使って準備の時間をとりましょう。準備が終わったら、意見交換を始めさせてください。その際、制限時間を学生に教えてください。教師は、意見交換中クラスを回って、話し合いを聞いたり、一部参加して疑問点を質問したり、表現などのアドバイスをしたりして、話し合いがうまく進むように手助けをしてください。制限時間の2分前～1分前には学生に残りの時間を伝えてください。話し合いが終わったら、各グループの代表にテーマ、結論を簡潔に発表させてください。時間的に全グループの発表が難しいときは、2～3のグループに留めましょう。

【書きましょう】

【話しましょう】で話し合ったテーマ、結論に加えて、感想を書かせて提出させましょう。

【読みましょう】

このセクションの「読みましょう」は、読んだ後に、話し合う活動があります。授業の流れは



次の通りです。1) 活動の内容を説明する、2) 各自でエピソードを読む、3) 下にある表のうち「あなたの意見」を埋め、理由も考えておく、4) ペアまたはグループになる 5) 自分の意見を述べ、相手の意見を聞く、6) ペアまたはグループの意見を決める、7) 発表する。また、最初はペアで活動を行い、ペアの意見が決まったところで、他のペアとグループになり、意見交換をし、最終的にグループに意見を決めるという形もできます。この場合は一度ペアで意見交換をやっているため、グループになったときに、ペアで決めた意見やその理由を言う際にスムーズになります。2) のエピソードを読んだ後に、全体でエピソードがきちんと理解できているか、登場人物と氏名、どんなことをしたか、など確認しておくといいです。意見交換だけでなく、話し合って意見をまとめる、場合によっては妥協する、などの活動になります。7) 発表する、で終了してもいいですし、クラスで行うイベントを決めるための意見交換なので、7) 発表のあとで、多数決でどれがいいか決めるのも面白いです。

◆聞き取り練習

①最近の若者に対する犬飼の意見とそれに対するペペの意見です。音声を聞きながら、ワークシートに書きこめる内容になっていますが、聴解能力があまり高くない学生が多い場合は、先にワークシートを読む時間を与えてから始めても構いません。

この二人の意見に対して、学生の意見を聞くのも面白いでしょう。その際、その理由や意見を裏付ける事実なども述べるように促してください。

②も①と同様のやり方で行います。テーマは遠隔教育についてです。こちらも学生の意見を聞いて話し合ってみるのも一つの方法です。

「ファッション」「コミュニケーション」が正しく書けない学生が多いです。特に促音「っ」、長音、撥音、拗音が含まれており、日本語にないない「ファ」が使われていて、学生にはかなり難しい表記になります。元の言葉（この場合は英語）から連想させず、聞こえるようにカタカナに直していくようアドバイスしてください。どちらもよく使う言葉なので、ここで発音も含め表記もマスターさせてください。